

病害虫防除技術情報第4号

平成 23年 6月 15日

三重県病害虫防除所

カンキツかいよう病の病斑が、新葉で見え始めました！

- 1 対象作物 中晩柑類かんきつ（甘夏、カラ、セミノール等）
- 2 対象病害虫名 カンキツかいよう病
- 3 発生状況 やや多い

6月の巡回調査において中晩柑類かんきつ新葉での発病が確認されました。発病程度は平年に比べて高く、圃場によっては多発した昨年と比べても高い状況でした（表）。5月の巡回調査において、感染源となる旧葉での越冬病斑発病率は17.3%（平年6.4%）と高く、昨年も6月下旬にかけて急増したことから、今後増加する恐れがあります。

表 6月上旬における中晩柑類かんきつ新葉での発病状況

調査圃場	(品種)	発病葉率			発病度		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
南伊勢町船越	(セミノール)	0%	0%		0	0	
南伊勢町五カ所浦	(カラ)	2%	6%		0.3	1.4	
紀北町紀伊長島区海野	(新甘夏)	0%	0%		0	0	
御浜町下市木	(カラ)	26%	4%		6.0	2.3	
御浜町阿田和(中立)	(新甘夏)	10%	2%		3.1	2.0	
紀宝町大里(田代)	(セミノール)	4%	6%		1.1	1.4	
平均		7.0%	3.0%	3.1%	1.8	1.2	0.7

各調査地点 50 葉調査の平均値。

平年値は過去 10 年（2001～2010 年）の平均。

4 防除上の注意事項

- (1) 降雨があると急速に感染が広がるので、雨の合間に防除してください。
- (2) 罹病葉及び罹病枝は可能な限り取り除き、園外に持ち出して適切に処分してください。
- (3) 風当たりの強いところでは、風雨による傷を回避するために、防風網等を設置してください。
- (4) 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。